



上小っ子

どうしたらよくなるか考え行動する

あいさつ運動の工夫

本年度の児童会スローガンは「きらめけ！笑顔あふれる上小っ子」です。そのスローガン達成のために「上小ハッピー(あいさつ)」「上小ラッキー(清潔)」「上小スマイル(思いやり)」の3つの重点活動に力を入れています。

3学期に入った1月23日(月)から2週間は、朝の登校時間に児童会本部役員を中心に『あいさつ運動』に取り組んでいます。児童会でこれまでの『あいさつ運動』の取組結果を振り返り、『あいさつ運動』の取組によって全体的にあいさつの活性化が図られてきたという成果が得られました。しかし、課題として『あいさつ運動』の期間が終わるとあいさつの意識が薄れる、「あいさつを積極的にする人とそうでない人の差がある」といった課題が見られました。そこで、今回は「あいさつビンゴカード」という一人一人があいさつを振り返る自己評価カードを作成したり、あいさつに積極的な児童は本部役員とともに呼びかけに参加してもらったりといった活動の工夫を行っています。子どもたち自らが「どうしたらよくなるか考え行動する」という学校経営方針を実践しています。子どもたちの自主性を尊重しながら、子どもたち一人一人がさらに輝くように支援しています。



一人一人の命を守り育てるために！

教職員の防犯研修

本校は、「一人一人を大切に協働すること」を学校経営方針に示しています。学校は、子どもたち一人一人にとって安全・安心な学びの場とならなければなりません。そのためには、子どもたち一人一人の命を大切に守り育てることが何よりも大切です。本校では、教職員一人一人が様々なケースにおいて、子どもたちの命を守ることができるよう、計画的に訓練を実施しています。

1月26日(木)の放課後には、上野原警察署の方々を招いて、不審者対応に関する防犯研修を行いました。研修では、不審者に対する対応の留意点の講義、そして不審者対応に対する実技訓練を行いました。上小の子どもたち一人一人の命を守るために、教職員一人一人が心がけ実践すること、組織として協働するために心がけることを実技をとおして確認しました。いざというとき、子どもたち一人一人の命を守り育てられるように、日頃から訓練を進めています。



図書委員会による読み聞かせ

プログラミング教育

1月18日(水)の昼休みに4・5・6年生の図書委員会によって1・2・3年生に本の読み聞かせを行いました。図書委員さんによる読み聞かせは各学期に2度ずつ行っています。

今回で5度目となり、4・5・6年の図書委員さんは回を重ねるごとに工夫して読み聞かせを行い、とても上手になっています。1・2・3年生の子どもたちは集中して聞き、読み聞かせをとても楽しんでいる様子が見られました。

1月26・27日には、3・4年生で、毎年お世話になっている荒巻恵子先生を招いてプログラミング学習会を行いました。プログラミング教育は「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」です。当日は、スクラッチというソフトを用いて、プログラミングを体験する学習を行いました。講師の先生の話をよく聞いて集中して取り組む姿、友だち同士で助け合う姿がたくさん見られました。

